

もも組だより <6月号>

平成30年6月20日
ことり保育園 担当：野口

雨の季節となりましたが、梅雨の晴れ間には、「お散歩行こうね」と声を掛けると、嬉しそうにしています。靴を履くと、散歩ロープを握ったり、保育者と手を繋いだり、上手に歩けるようになってきました。畑のそばを通ると、いろいろな野菜が見られ、「これは、ひか芽の花だよ」「黒いもの葉っぱ、大きくなったね」と保育者が、名前や大きくなっていることを伝えると、一緒に「ひかがいも」「さといも」と言いながら、興味津々です。

また、さまざまなお花が咲き始め、お花の変わっていく様子を、散歩の度に、目を向けています。「お花、大きくなってきたね」と、毎回楽しみで、今は、「青」「ピンク(もも色)」と、少しずつ色付いたお花に、顔を近づけたり、手を伸ばし、「そっと」触れる姿が見られます。これからも自然に触れる機会を大切にしていきたいと思います。ぜひ、ご家庭でも、お子さんと手を繋ぎ、散歩を楽しんでみてください。

ところで、先日、「かさ」を製作しました。絵の具を使うことに、とても意欲的で自分の好きな色の台紙に、「トントン…」と言いながら行ない、半分に分けた台紙を開くと、「わあ」と目を輝かせていました。子ども達がワクワクしながら、いろいろな遊びや経験が出来るよう働き掛けていきます。

いよいよ、待ちに待ったプールが始まります。体調を崩しやすい。この時期、子ども達が元気に楽しく過ごしていけるよう体調管理に、十分気を付けていきたいと思っています。

